

一食ユニセフ募金
実施要項
2020





目次

実施概要	1
募金までの流れ	3
申請書・振込用紙	5
ツールの紹介	6
ユニセフをもっと知ろう！	8
ユニセフの使用名義について	9
支援事業地変更のお知らせ	10





目的

地球的視野に立った身近な菩薩行としての「一食ユニセフ募金」は

- (1) 青年会員が率先して実践し、「わかちあい」の精神を啓発します。
- (2) 全人類が国境を越え、ともに生きる世界の実現を目指します。
- (3) ユニセフを通じ、貧困や紛争により困難な立場に置かれた子どもたちの支援を行います。

テーマ

すべての人の未来を守りたい

実施期間

通年での取り組みですが、4月から6月をキャンペーン期間として推進します。

募金の使途

- (1) ユニセフ・世界宗教者平和会議(WC R P/R f P)国際委員会
による子どもの保護事業
 - ・リベリア：内戦とエボラ出血熱で影響を受けた子どもの心のケア
 - ・シエラレオネ：エボラ出血熱の影響を受けた子どものケア
 - ・ミャンマー：紛争の影響を受けた子どものケア(2020年1月より開始)
- (2) ユニセフによる子どもの保護事業(2020年8月で終了)
 - ・グアテマラ：母乳育児の推進と栄養習慣改善

※詳細につきましては、事業レポートをご参照ください。





<銀行振替>

振込先：みずほ銀行中野支店 普通預金 1484936

名義（受取人）：公益財団法人 日本ユニセフ協会一食募金口

活動後は速やかに送金をお願いいたします

<郵便振替>

口座：00190-5-31000

加入者名：公益財団法人 日本ユニセフ協会

※依頼人の欄には、必ず「立正佼成会〇〇教会」と記入して下さい。団体・教会名が無い場合、「立正佼成会指定拠出」として扱われない場合があります。（教会実績がゼロとなります）

※振込手数料は、募金の中より差し引いて構いません。

詳しくは事務取扱手引き
P.2-7-7に記載されております

ご注意ください！

例年、一食平和基金への誤送金が多くなっています。一食平和基金のご浄財を間違えて、日本ユニセフ協会へ送金した場合、返金することができません。間違えて入金した場合は、必ず、青年ネットワークグループまでご連絡をお願い致します。

※振込用紙、振込先を必ずご確認の上、送金をお願い致します。



1

活動内容を決める

事前の準備が必要になりますので、実行委員会などで活動日、場所、内容、責任者などを決め、取り組みましょう。

また、街頭での募金活動のほか、イベントを立ち上げたり、地域行事等と組み合わせることでより多くの方に協力していただける機会が得られます。

2

活動場所の許可をとる

■店舗・商店街・公園・駅等を利用する場合

「貴敷地使用許可のお願い」にて申請します。

■公道の場合

「道路使用許可申請書」を管轄の警察署にご提出ください。

※署によって申請用紙が異なる場合がありますので、必ずご確認の上、ご提出ください。

■首都圏近郊の駅敷地を利用する場合 地域限定

該当する教会には、令和元年12月下旬頃、教会長会議にてご案内しております。申請する駅と「鉄道会社からの注意事項」を照らし合せた上でお申し込みください。

提出締切：4月実施の場合 → 2月10日（月）

5月実施の場合 → 3月10日（火）



駅敷地に関する使用許可書が得られるまでの流れ

教会が申請書を青年ネットワークグループにFAX送信



青年ネットワークグループが
まとめて日本ユニセフ協会に申請



実施日1週間前を目途に日本ユニセフ協会より

「駅敷地使用許可書」が教会に届くため募金実施場所へ持参する



3 物品を取り寄せる

教団諸計画案内の「物品申込書」にてお申し込みください。

注文できる物品の内容は、P.5をご参照ください。

初回締切：3月10日（火） ※3月末に着荷予定

4月以降も随時受付しています。お申込後、1週間程度でお届けします。

4 事前学習会の開催

一食精神や支援している国の様子をよく理解して募金に立ちましょう。

P.8に映像作品や講演依頼についてご案内しています。

5 いよいよ募金活動です

事前に使用する場所へご挨拶し、使用にあたっての注意事項を確認しましょう。

募金活動が終了したら、ご協力いただいた教会の皆さんや活動させていただいた場所へのお礼とご報告をしましょう。

6 お疲れ様でした！

募金活動を通して感じたことや気づいたことをぜひ法座で共有しましょう。

また、市民の方からのご浄財ですので、集計後は速やかにお振込みください。

近年、一食平和基金の口座へ誤って送金するケースが多発しております。送金時は、十分にご注意くださいますようお願いいたします。

外貨が教会に眠っていませんか？

日本円に換金できなかった外貨は、ユニセフ外貨募金に届けることで世界の子どもたちに役立てることができます。ぜひご利用ください！
送付後、日本ユニセフ協会より受領書が届きます。

コインの個別集計や、日本円に換算した領収書の発行はできませんのでご了承ください。

送り先

〒108-8607

東京都港区高輪4-6-12

ユニセフハウス

日本ユニセフ協会 外貨コイン係

※品名は「メタル」と記載。

※送料はご負担下さい。

各種申請書・振込用紙

証明書 (B 5 版サイズ)

ツールの紹介

事業レポート

支援先の概要や現地からのメッセージが掲載されています。
学習会や教会内での掲示等にご活用ください。
数に限りがございますのでなくなり次第配布を終了します。

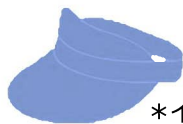


ユニセフ帽子（紙製サンバイザー）

なくなり次第終了します。

【注意事項】

- ・「一食ユニセフ募金」以外での使用禁止
- ・転売禁止
- ・使用后、道端に捨てない



*イメージ図

のぼり

2014年に各教会に2枚お配りしています。それ以上必要な場合のみ、貸出の対応となります。土台は教会ごとにご用意ください。



※チラシ

市民の方に配布してください。本会が支援している内容と、活動の成果が分かります。



※ポスター

教会内や街頭で掲示できます。



横断幕

貸出を行っております。濃紺の横断幕をお持ちの場合、旧ロゴのツールのため、使用できません。
青年初ワ-グループまでご返送ください。



募金箱

募金活動の際、封印シールで両わきをしっかりと封印してご利用ください。



※募金下げ

※リニューアル予定ですので、昨年と同じツールは使用できません。

■道路使用手数料の減免について

道路使用許可を取る際、手数料の減免または免除ができる場合があります。

警察署へ「手続きが可能かどうか」、「申請必要書類」をご確認の上、申請ください。

※手続きに時間がかかる可能性もございますので、早めにお取り組みください。

※警察署によっては、専用の申請用紙を設けている場合があります。特に指定がない場合は、「習学部教育ガイド」内「一食ユニセフ募金物品申込書」にて「減免のお願い」と記入の上、お申込みください。

※申請者を日本ユニセフ協会にするようにと言われる場合があります。

その際は、青年ネットワークグループまでご連絡ください。

■宗教団体名で活動できない場合

物 品 名	代替品	内 容
ポスター	○	<p>ユニセフを知ろう！ ポスターセット（5枚入）</p> 
チラシ	○	<p>今年と昨年で異なるデザインのものか郵送される場合がございますが、両方ご利用できます。</p> 
募金箱下げ札	×	<p>使用できません。</p> 



学習用教材

「平和・社会活動の手引き」P.Ⅱ-22 開祖さま
ご法話、各活動の精神・歴史が確認できます。

映像作品 (DNA)

1. 「一食ユニセフ募金に出発だー！」(10分)
2. 「良い心を育てよう」(11分)
3. 「リベリアの子どもたちに幸せを」(2分)
4. 「ユニセフ代表メッセージ」(2分)

など

講演依頼

日本ユニセフ協会のスタッフがユニセフの活動や世界の子どもたちの現状、本会の支援内容などご希望の内容をお話ししてくれます。

ご希望の際には
必ず、青年ネットワークへ
ご連絡ください。

ユニセフハウス見学

支援物資やユニセフの活動の様子などが体験できるブースがあります。実体験できるのは世界を探してもここだけ世界で唯一の“ユニセフハウス”を見学してみませんか？

ご希望の際には
必ず、青年ネットワークへ
ご連絡ください。



■名義使用の申請が必要な場合

①主催を立正佼成会以外とする場合

例えば…明るい社会づくり運動

地域と連携し「〇〇の会」として募金活動を行うなど

②大きなイベント（露店、展示会、パレード等）を行う場合

※上記の場合は、事前に青年衞ワ-グループまでご連絡ください。

■ロゴマークの改定

2003年よりロゴマークのデザインが改定されています。イメージカラーが濃紺から明るめの青色に変更されました。今一度、教会でお使いのツール（横断幕やバッチなど）をお確かめいただき、濃紺のものは青年衞ワ-グループまで返却をお願いします。

旧ロゴマーク



現行のロゴマーク



■教会オリジナルツールの作成

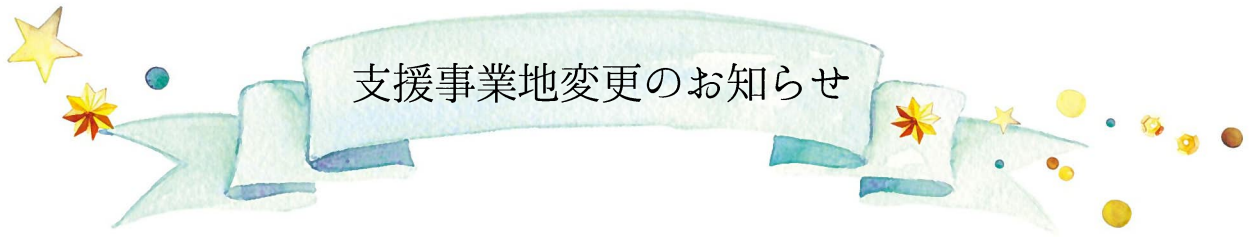
原則禁止とさせていただきます。募金活動実施のお知らせを行うために教会敷地内での掲示物、チラシの配布のみ認められます。

	ユニセフの名称	ロゴマーク
	ユニセフ、UNICEF	We Support unicef
教会内での掲示物・配布物	○	×
市民への配布	×	×

■募金活動での配布物について

近年、団体を問わず、募金活動への規制が厳しくなっていますので、上記の事項を厳守ください。

また、宗教団体名での活動や配布物に制限をかけている駅や敷地もあります。宗教団体名での活動ができない場合はP.7をご参照ください。



■グアテマラからミャンマーに変更した経緯

グアテマラでは、2014年から約6年間、“「はじめての1000日キャンペーン」”と題し、慢性栄養不良を未然に防ぎ、子どもの健全な成長と発育を手助けするために、様々な取り組みを実施して参りました。

その結果、子どもたちの栄養状態改善に効果の高い母乳育児の重要性が認知され、母乳育児を中心とした適切な新生児ケアを行う「赤ちゃんにやさしい」病院が増えるなど、社会全体で課題改善に取り組む流れができつつあります。この状況を受けて、ユニセフとしての支援は継続するものの、本会の支援としては一つの区切りを迎えたと判断し、より困窮している子どもたちを助けるため、次の支援事業へ切り替えることを決議しました。

みなさまの支援のおかげさまでこうして発展できたことを御礼申し上げます。

今後は、現在取り組んでいるリベリア、シエラレオネに加え、あらたに、ミャンマーでの事業を支援することにいたしました。

ミャンマーは複数の民族や宗教グループが暮らす多様な国ですが、一方で自治権や民族アイデンティティなどをめぐり武装勢力や政府軍の紛争が各地で起こり、多くの人が避難を余儀なくされています。近年ロヒンギャ難民問題が話題となったこともあり、国連や多くのNGOが支援を行っていますが、アクセスの制限される地域や山岳地帯などの僻地には支援が届きにくく、支援対象者でありながら支援を受けられない人々も多くいます。

2020年からのミャンマー事業では、こういった人々に対し、RfP（世界宗教者平和会議）を通じて地域コミュニティの宗教者と連携を図りながら、子どもと女性の保護を主軸に保健・教育サービスの支援、危険な社会規範に対し行動変容を促すプログラムの実施を行っていきたいと考えています。

（詳細については2020年11月に発刊する支援事業レポートに掲載予定です。）

引き続きご支援の程、お願い申し上げます。





お問い合わせはこちら



■推進に関する事項

立正校成会 青年ネットワ-クグループ

■送金に関する事項

立正校成会 財務グループ

アドレス

seinen@kosei-kai.or.jp